



1,300 問答の建築よろず相談

# YOROZU 通信 NEWS

Vol.00

2017.11.21

ニュース 発汗 ; 遅くなりましてすみません

## まずはスタート News

初回というと恐れ多いので、まずはお試し号ということでご了承いただきたい。このメールニュースは、会員一人ひとりの関心事や取組んでいることなどを書き綴っていただき、よろずの内外にお知らせできればと考えています。

なんにも専務理事とはよくいったもので、総会の度にその怠惰で無能で愚鈍な一年を振り返り、いっそナメクジにでもなったほうがましなのではと反省はするものの、その歩みはナメクジよりも遅く、いつも古賀理事長に叱られている。

そんなわたしが先日、NPO アレルギー支援ネットワークの勉強会に呼ばれて話をすることになった。医師・看護師・栄養士・建築士などさまざまな専

門家を前に話したのはこんな中味であった。

「生命記憶と共鳴する住環境の自己構築の可能性」

このタイトルを示した時、事務局の方々がわたしに依頼したことをさぞ後悔したであろう。お気の毒というか、申し訳ない。おまけに質疑応答合わせて90分で十分と伝えておきながら、話だけで90分費やしてしまった。時間があるからそのまま続けていいといわれ、その後の意見交換でさらに60分間会場のみなさんとやりとりをしたのだ。あらすじを残りの文字数で伝えると、1 アレルギーはお知らせ 2 シックハウス症候群と化学物質過敏症 3 住まいのアレルギー要因 4 建築関連法

規では規制は2つだけ 4 シックハウス対策はモグラ叩き 5 自然素材だつてアレルゲン 6 材料ごとの化学物質 7 人間の生命記憶には自然との共生が刻まれている 8 ヒトは言葉と同時に家をつくった 9 地球の歴史と生命 10 二つの人類 11 ヴェルム氷期を境に 12 住まいの役割 13 第三の皮膚としての住まい 14 人間性・社会性を育む住まい 15 生活基盤としての住まい 16 建築の持つチカラ 17 自然環境が感性を開く 18 自己構築感が許容値を広げる 19 問題にしている時期 20 課題と捉える時期 21 自己肯定・自己責任・自己選択・自己構築 22 スイッチ 今考えると90分でこれだけのことを話したことに自分で驚いている。なんと無謀な…